

次号「みんなの大和ニュース」は、2022年7月発行予定です。

コラム「私の楽しみ」⑩ 合田玲子さん (大和町在住)

趣味雑感

私は子供の頃からスポーツ苦手、歌苦手、ただ絵だけは褒められた記憶から何となく美術に関心が向き、長じては絵を描いたり観賞したりすることが趣味になった。絵は水彩・油絵などをかじったが、好きと才能は別で下手な絵のキャンバスが溜まる一方だった。その頃写真は、普通に子供や旅行の写真を小型カメラで撮っていたが、これも整理しきれないほど溜まってしまふ。そこにパソコンやスマホなど超便利な道具が現れ、カメラで撮った写真はパソコンに保存し、スマホの写真はそのまま保存。必要ならプリンターで印刷すればよかった。

しかも、ピントさえ合っていれば写真編集ソフトでいかようにもレベルアップができる。私はトリミングして、明暗や色調・陰影など少しは見栄えのするように調整するだけだが、それでも自己満足できる写真になる。そうすると写真を撮る段階から、編集してどうなるかを考えながら撮るようになり、写真を撮ることが面白くなった。

私は風景や花を主に撮るが、特に花を多く撮る。近場の季節の花を撮りに一人で出かけて行く。そして一度に100枚前後撮ってパソコンに取り込み、編集して良いものだけ保存するのだが、それもまた楽しい。ただ、編集するとどれも捨てがたくなり、削除に迷ってつい多くを保存してしまい、パソコンの中は写真でいっぱいになる。保存した写真は、音楽つきのスライドショーにして楽しんでいる。



*このコーナーに応募ご希望の方は、事務局へご連絡ください。

皆んなに感謝！うち保育園「ありがとうのかい」

3月17日(木)2歳の園児の卒園と、0歳から1歳児の進級を祝う「ありがとうのかい」が行われました。この会は、園から園児たちに「毎朝元気に園に来てくれて、ありがとう!」、園児同士で「いつも仲良く遊んでくれて、ありがとう!」の気持ちを込めたそうです。コロナ禍のため、保護者は我が子への「ありがとうメッセージカード」での参加になりました。園長先生のご挨拶で始まり、4名の卒園児が一人ずつ前に出て保育証書を受け取った後、保育士さんからハグ付きメッセージと、保護者からのメッセージカードをいただきました。卒園児は、4月から5歳児までを受け入れる保育園に通うそうです。0歳から1歳児も卒園児と同じ内容で会は進み、全員で「ありがとうのかい」を歌い、最後は大きな声で「ありがとう!」と叫んで会は終了しました。最初から最後まで、感謝の気持ちが伝わるステキな「ありがとうのかい」でした。



新しい門出、おめでとう!

3月中旬から4月上旬にかけて、大和町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校で卒業式と入学式が行われました。今年もコロナ禍の中、どこも感染防止対策に苦心されての開催でしたが、子供たちの顔は希望に輝いていました。

●保育園と幼稚園の卒園児は、合計約280名、新入園児は約290名。

●小中学校の卒業生・新入生の人数は

- ・啓明小学校(卒業生)50名(新入生)71名
- ・美鳩小学校(卒業生)121名(新入生)144名
- ・明和中学校(卒業生)157名(新入生)170名



3月24日(木) 啓明小学校の卒業式



4月7日(木) 明和中学校の入学式

抹茶を初体験！七海保育園「ひなまつり・お茶会」

3月3日(木)ホールに飾ったひな人形と共に、ひなまつり会を行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、各クラスごとの実施ではありましたが、おひなさまの由来の絵本を見たり、顔真似ゲームをしたりして楽しみました。そして最後に「うれしいひなまつり」の歌をうたい、桃の節句のお祝いをしました。

午後は、ご近所でお茶の先生をされている谷口さんをお招きし、年長児とお茶会をしました。子どもたちは、正座や挨拶の仕方など、作法を教してもらいながら、少し緊張した様子で参加しました。初めての抹茶の苦さにびっくりする子もいれば、「おいしい!」とゆっくり味わう子など、緊張の中で時々見せる笑顔がほほえましいひと時でした。(成田先生)



田中ナースリー大和保育園「ひなまつりお茶会」

3月3日(木)ひなまつりの日に、毎年恒例の年長さんによるお茶会を行いました。お茶会では、年長さん一人ひとりが自分の好きな茶器を選びます。一つ一つ違う茶器を子どもたちが選ぶ瞬間、まさに一期一会。出会った茶器を使って盆手前を行いました。

園長先生のお点前を見た後は、いよいよ自分たちで点ててみます。お抹茶を茶約で何杯入れるか?子どもたちに任せてみると、ほんの少しの子もいれば、3杯入れる子もいて、茶筌で点て始めるとその濃さに驚きの声…。お茶菓子の羊羹を食べた後のお抹茶は、おいしい!にがいっ!でした。心静かに目をつぶり、春の香りや音、ゆったりとした時間を味わいました。小学校でも一期一会を大切に…!(石澤園長)



卒園児たちの集大成!大和幼稚園「卒園音楽会」

3月4日(金)大和幼稚園の「卒園音楽会」がコロナ禍ではありましたが、クラスごとの分散型でWIZホールにて実施されました。

まず、最初に英語や手話付きの歌が唄われ、その後、恒例のレオポルト・モーツァルトの「おもちゃのシンフォニー」の演奏が披露されました。使用した楽器は、ピアノ、木琴、鉄琴、でんでん太鼓、トライアングル。楽器の代わりに、カタカタやカッコウ笛、水笛などでメロディーを奏で、ばら1組はメヌエット、ばら2組は第一楽章を演奏しました。本番はとても素敵な演奏になりました。

また、ピアノのソロや、桃太郎の日本舞踊も披露されて、園児やその保護者の方たちにとって、とても思い出深い卒園の行事になりました。(門脇先生)



ご報告します。

コロナ感染の不安はまだありますが、子供たちの新しい門出を祝えました。みんな!元気でガンバってね!

パラリンピック種目に挑戦!キッズ・プラザ美鳩で「ポッチャ」

1月28日(金)にキッズ・プラザのイベントで、パラリンピック公式種目の「ポッチャ」の講習・体験を行いました。昨年に続き2度目の開催となりましたが、中野区スポーツ指導員の小澤さん、関根さんに指導していただき、子どもたちは正式ルールについての説明を熱心に聞くと共に、ボールの感触や重さ確かめていました。ボールが想像より重かったり、なかなか思い通りのところに跳ばないなど苦戦していましたが、子どもたちは力加減を調整したり、作戦をチームで話し合ったり楽しんでいる姿が見られました。短い時間でしたが「またやりたい」という声が多く聞かれました。(中谷先生)



外出に便利!「中野区シェアサイクル」

地域の方々の便宜を図るために、2月から自転車が自由に利用できる「中野区シェアサイクル」を当センターに開設しました。アプリをダウンロードするだけで、簡単に会員登録ができます。東側出入り口の隣に設置したサイクルポートで、詳しい利用方法を書いたパンフレットをご覧ください。



「地域支えあいネットワーク」大和地域懇談会

中野区が制定した「地域支えあい活動の推進に関する条例」に基づき、2月5日(土)当センターで「地域の支えあいかかわる講座/環境学習について」が「ごみ問題」をテーマに開催されました。

各町会・自治会や大和町の暮らしに関わる組織などから29名の参加があり、《第1部》は中野区清掃事務所の講師による、中野区のゴミの現状・ゴミの分別から処理・ゴミと資源について、《第2部》は屋外で「環境学習車「ごみのんカー」」による、ゴミ収集作業とスケルトンボディで車内に積まれたゴミを見学しました。《第3部》はごみゼロ推進課の講師が、食品ロス・プラスチック製品・災害廃棄物とゴミとの関係を講義してくださいました。参加者からは「ゴミの分別はやっていただけたけど、まだ甘いと知らされた」「食品ロスについて聞いて良かった、真剣に考えます」など、ゴミの削減に前向きな感想がいただけました。



一緒にやろうよ!



社協の担当者、左から後藤さん、浅野さん、二瓶さん、小山さんです



↑手は忙しくても、口と耳は働きます。整理された切手→

役立ちました。参加しての感想は、「無心になれる」「切手の絵柄が楽しい」「頭を使わなくていいのでラク」そして皆さんが声をそろえたのは「話を聞くのが楽しい!」でした。取材中も、お気に入りの料理レシピから、珍しい食べ物、最近のトレンド、高円寺や中野のお店など、話題はとどまることなく続いていました。担当者の後藤さんに、皆さんへのメッセージをいただきました。「人と話すことが苦手で何か始めたい方、高齢になっても活動したい方が、気軽に参加できるボランティア活動として始めました。切手を切るだけでも良い、お話ししながらでも良い、とっても明るく賑やかな場になっています。ぜひ、お気軽にご参加ください。」

26 楽しく社会貢献!「大和すたんぷクラブ」



皆さん、コロナ禍でも元気に参加してくださいました

当センターで毎月第2木曜日に開催している、使用済み切手を切って整理するボランティア活動の「大和すたんぷクラブ」をご紹介します。主催は中野区社会福祉協議会、2021年6月にスタートし、この日は7名の参加者で活動しました。整理された切手は換金して、ボランティア基金に積み立て、災害時のボランティア活動資金などとして活用されています。参加者の方々に聞きました。「参加したきっかけは?」「とにかく暇だから」「友人に誘われて」「何か、社会の役に立ちたかった。」「参加しての感想は?」「無心になれる」「切手の絵柄が楽しい」「頭を使わなくていいのでラク」そして皆さんが声をそろえたのは「話を聞くのが楽しい!」でした。取材中も、お気に入りの料理レシピから、珍しい食べ物、最近のトレンド、高円寺や中野のお店など、話題はとどまることなく続いていました。担当者の後藤さんに、皆さんへのメッセージをいただきました。「人と話すことが苦手で何か始めたい方、高齢になっても活動したい方が、気軽に参加できるボランティア活動として始めました。切手を切るだけでも良い、お話ししながらでも良い、とっても明るく賑やかな場になっています。ぜひ、お気軽にご参加ください。」